

三菱史料館へようこそ

1870(明治3)年、岩崎彌太郎が監督の任にあった土佐藩開成館大阪商會の海運業を中心とする事業を、私商社「九十九商會」が引き継ぎました。これが三菱の創業です。

3年後には初めて三菱を名乗り、翌1874(明治7)年には本拠を東京に移しました。大型蒸気船による海運事業は新時代の物流を支え、航路は内国のみならず朝鮮半島や中国大陸にも拡大、三菱のその後の発展の基礎を築きました。

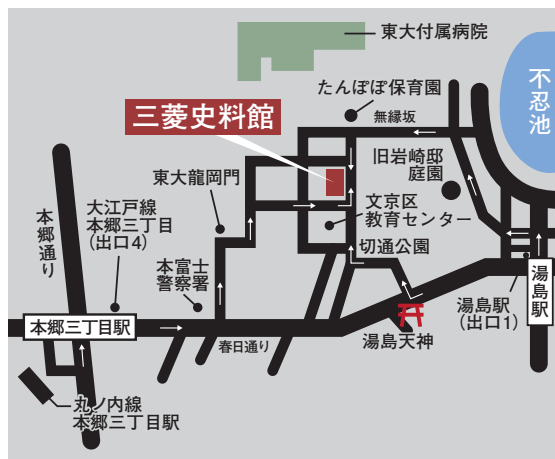
それからの三菱は、経済の発展とともに、多角化・近代化をはかり、わが国の歩みと運命をともにしながら、一大企業グループとして成長していきました。1946(昭和21)年に三菱本社は解散しましたが、三菱各社はそれぞれ独立した会社として発展し、今日にいたっています。

三菱史料館は、1995(平成7)年、三菱創業125年を記念して三菱金曜会により建設されたもので、1932(昭和7)年以來の伝統をもつ財団法人三菱経済研究所*の附属施設としてオープンしました。この三菱史料館には三菱創業以來の本社・各社の貴重な史料が保管され、産業史・経営史の研究が専門家によって進められています。史料展示室では三菱の歴史をわかりやすく解説するとともに貴重な史料を展示しています。

*2011年4月より公益財団法人三菱経済研究所

三菱史料館ご案内

- 開館時間 10:00~16:30(入館は16:00まで)
- 休館日 土、日、国民の休日。年末年始など。
- 見学 無料。予約不要です。ただし15名以上の場合はあらかじめご連絡下さい。
- 史料閲覧 予約が必要です。あらかじめ調査目的、閲覧希望史料などをご連絡下さい。
- レファレンス・サービス 三菱の歴史に関する各種照会に応じています。



- 地下鉄千代田線 湯島駅下車(出口1)徒歩6分
- 地下鉄丸ノ内線 / 大江戸線 本郷三丁目駅下車徒歩10分
- ★見学者用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

公益財団法人三菱経済研究所附属 三菱史料館

〒113-0034 東京都文京区湯島4-10-14
TEL: 03(5802)8673 FAX: 03(5802)8674
E-mail: siryokan@meri.or.jp
URL: <http://www.meri.or.jp>

公益財団法人三菱経済研究所附属

三菱史料館



館内のご案内

パネル解説と所蔵史料約 100 点の展示を通して、岩崎彌太郎の創業に始まる三菱の歴史を時代背景とともにご紹介しています。

I. 三菱の創業

創業者岩崎彌太郎は、1835 年、土佐国井ノ口村(現在の高知県安芸市)に生まれました。

1870 年、彌太郎が監督の任にあった土佐藩開成館大阪商会の海運業を中心とする事業を、私商社「九十九商会」が引き継ぎました。これが三菱の創業です。

- 1 三菱の創業
- 2 海運業の発展と変転
- 3 近代的企業経営の始まり
- 4 事業基盤の形成

II. 多角化への道

第二代社長に就任した岩崎彌之助(彌太郎の弟)は、1886 年、三菱社を設立し、鉱業と造船業を柱として多角経営を進めました。

1894 年、商法の施行を受けて三菱合資会社が開業し、岩崎久彌(彌太郎の長男)が第三代社長に就任しました。多角化を継承し、事業部ごとの独立採算制を取り入れるなど、近代的なマネジメントを導入しました。

- 5 海から陸への戦略転換
- 6 鉱業の発展
- 7 造船ほか諸事業の発展

III. 新たな産業への進出と戦時期

1916 年、岩崎小彌太(彌之助の長男)が第四代社長に就任し、各事業部門を株式会社として分離独立させ、持ち株会社となった三菱合資会社がそれらを統括する体制に移行しました。

- 8 三菱合資会社と分系会社
- 9 新産業分野への進出
- 10 丸の内の発展
- 11 化学工業への進出など
- 12 戦時体制期



IV. 戦後復興と新たな三菱の誕生

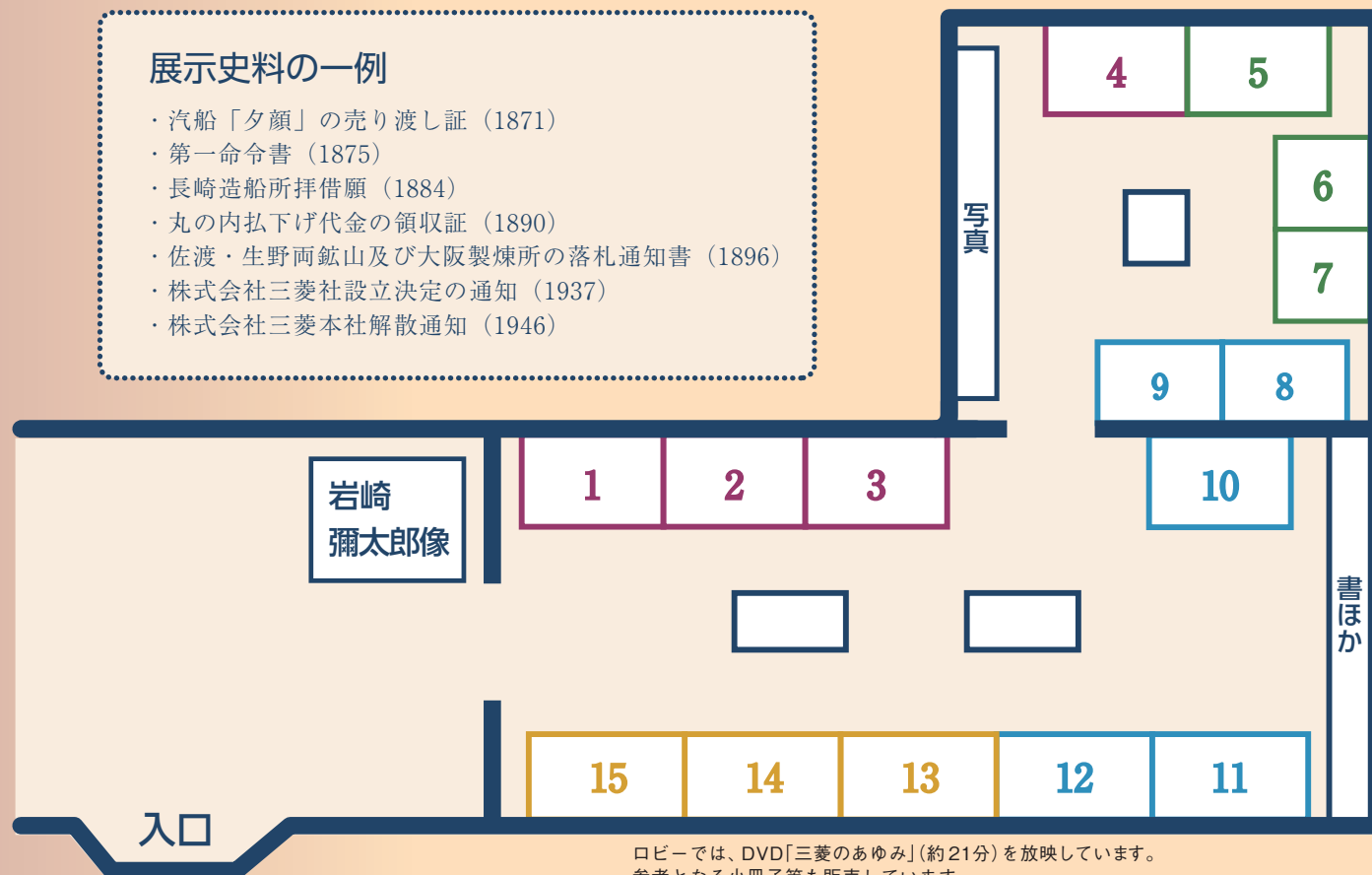
1945 年 8 月、日本は敗戦。連合国総司令部 (GHQ) が経済民主化政策の一環として財閥解体指令を発し、1946 年 9 月、株式会社三菱本社は解散、75 年余にわたる歴史の幕を閉じました。

戦後復興から高度経済成長、バブルとその崩壊、厳しい環境変化の中、三菱グループは統合・再編にも挑戦し、成長を続けています。

- 13 「財閥」の解体
- 14 再出発・世界の三菱に
- 15 未来に向けた三菱のあゆみ

展示史料の一例

- ・汽船「夕顔」の売り渡し証 (1871)
- ・第一命令書 (1875)
- ・長崎造船所拝借願 (1884)
- ・丸の内払下げ代金の領収証 (1890)
- ・佐渡・生野両鉱山及び大阪製煉所の落札通知書 (1896)
- ・株式会社三菱社設立決定の通知 (1937)
- ・株式会社三菱本社解散通知 (1946)



ロビーでは、DVD「三菱のあゆみ」(約 21 分)を放映しています。
参考となる小冊子等も販売しています。
〔三菱のあゆみ〕【日・英】／4 代社長ごとの「小伝」／DVD「三菱のあゆみ」【日・英】ほか